

北部浄化センター汚泥スクリーン棟活性炭吸着塔吸着剤調達業務（その２） 特記仕様書

1 目的

北部浄化センター汚泥スクリーン棟１階搬出室に設置の脱臭設備（活性炭吸着塔）の吸着剤（新炭であり、再生炭は不可）を取り換えることにより、脱臭設備の機能回復を図りたい。

2 納入場所

北部浄化センター内（三重県三重郡川越町亀崎新田地内）

汚泥スクリーン棟１階搬出室 脱臭装置 1基

3 範囲

- (1) 吸着剤（新炭であり、再生炭は不可）の交換
- (2) カートリッジのパッキン交換
- (3) 吸着剤交換前・後の吸着塔入口・出口の臭気測定
- (4) 吸着剤交換前・後の圧損測定
- (5) 抜き出した吸着剤の処分

4 納入内容

汚泥スクリーン棟１階搬出室 脱臭装置

ア 吸着剤種類及び納入量

酸性成分用吸着剤 充填容量 2.43 m³
(充填重量 1,215 kg、充填密度 500 kg/m³程度)

中性成分用吸着剤 充填容量 0.81 m³
(充填重量 373 kg、充填密度 460 kg/m³程度)

※粒度 4～8メッシュ

パッキン 発泡ネオプレン t=10

イ 吸着塔仕様

処理風量：20 m³/分

空塔速度：約 0.148 m/秒

カートリッジの寸法（１個あたり）と個数

酸性ガス用：1,512 mm (W) × 1,512 mm (L) × 450 mm (H) 3個

中性ガス用：1,512 mm (W) × 1,512 mm (L) × 450 mm (H) 1個

5 活性炭吸着塔用吸着剤仕様

吸着剤の選定に当たっては、次の事項に留意するものとする。

ア 吸着剤の硬度は JIS K1474 試験法によるものとし、90%以上でなければならない。

イ 品質が一定であること。

ウ 吸着剤の臭気成分の吸着容量は、次のとおりとする。

a 酸性成分吸着剤

粒度 4～8メッシュ内のものが95%以上

硫化水素濃度 5 ppm においても平衡吸着量が 18 g/g 以上であること

b 中性成分吸着剤

粒度 4～8 メッシュ内のものが 94%以上

硫化メチル濃度 5 ppm においても平衡吸着量が 4% g/g 以上であること

エ 試験・検査

JIS K1474 の試験法により①粒度、②充填密度、③硬さ、④乾燥減量（無添着炭のみ）、⑤pH、⑥吸着性能、⑦強熱残分（無添着炭のみ）の試験を行い、試験成績表を提出するものとする。また、吸着剤の物性、吸着能力、その他必要項目についても同様とする。

6 納入条件

- (1) 今回納入する吸着剤（新炭であり、再生炭は不可）は活性炭吸着塔の仕様及び日本下水道事業団標準仕様書を確認し、満足するものを納入すること。充填厚は、360mm（汚泥スクリーン棟1階搬出室の脱臭装備）を確保すること。
- (2) 吸着剤の搬入・搬出にあたり、フロア等十分に養生を施すとともに、粉じんが飛散しないような対策を講じること。
- (3) 納入する吸着剤（新炭であり、再生炭は不可）の試験成績表を提出すること。
- (4) 交換前後の入口・出口の臭気測定
臭気測定とは、アンモニア・メチルメルカプタン・硫化水素について、入口・出口の臭気を測定すること。交換後の測定結果に異常が認められた場合は、直ちに原因を調査し処置を施すこと。
- (5) 抜きだした吸着剤については、産業廃棄物として処理もしくは再生処理など適正に処理し、処理した内容が分かるものを提出すること。
- (6) 納入費用には既設吸着剤の撤去、納入する吸着剤に交換する手間、撤去吸着剤の搬出、運搬、処分を含む。

7 提出書類

提出書類は、次のとおりとする。

- | | | | |
|----------------------|-----|-----------|-----|
| 1. 納入要領書 | 1 部 | 2. 使用材料調書 | 1 部 |
| 3. 材料確認（検査）調書 | 1 部 | 4. 打合簿 | 1 部 |
| 5. 出荷証明書 | 1 部 | 6. 検査成績書 | 1 部 |
| 7. 臭気測定結果表（圧損測定結果含む） | 1 部 | | |
| 8. 使用済吸着剤引取報告書など | 1 部 | | |
| 9. 納入時作業写真 | 1 部 | 10. 完了報告書 | 1 部 |
| 11. その他、監督員の指示するもの | | | |